

強者の戦略

《シリーズ》もしもセンターの問題が東大

仕様で出題されたら (5)

【解答】

- 問1 **A**地域は原油が産出するため精油・石油化学産業が発展しているが、**D**地域は豊富な鉄鉱石をいかし鉄鋼業が盛んである。(55字)
- 問2 **B**地域は肥沃なパンパが広がり、乾燥パンパでは小麦の栽培、湿潤パンパではとうもろこしなどの飼料作物と家畜飼育を組合せた混合農業が発展しているが、**C**地域では熱帯草原であるカンポが広がり肉牛飼育などの牧畜が盛んで、また、大豆の栽培も盛んである。(119字)
- 問3 とともにカトリックを信仰している。**L**国の言語はスペイン語で国民の大半は白人である。**K**国の言語はポルトガル語で、国民の半分は白人であるが、ムラート・メスチゾ・黒人が半分を占めている。(89字)
- 問4 1970年代にモノカルチャー経済からの脱却を図り、外資を積極的に受け入れて工業化を推進してきたが、1980年代以降、対外債務の増大と過度のインフラ整備によって深刻な経済危機に陥った。(87字)
- 問5 農耕限界を超えたプナではリヤマやアルパカの放牧が行われ、冷涼な高原スニではジャガイモの栽培、温暖な谷のケチュアではとうもろこしの栽培、暑い谷のユンカではコーヒー栽培が行われている。(90字)
- 問6 **ア**ーコーヒー豆 **イ**ー自動車
ウー原油 **エ**ー植物性油かす
オーニッケル鉱

【解説】

先週は、「黄砂の影響でのが痛々しい状態になっています」というようなことを言っていました、その状態が悪化して、気管支&肺の一部に炎症が広がるようになってしまいました。そして、あまりに咳を激しくしたために肋骨にひびが入って、咳をするときや立ち上がる時などに痛みが走る状態にも発展。今までは、咳のしすぎで骨にひびが入るなん

て軟弱な輩だとか思っていました、いざ自分がなってみると大変です。前まで適当にしようもないことを言って、ひびの入っている人を苦笑させ、「イタタタタ…」とか言わせてたりしましたが、自分の身に降りかかると、「こんなに痛かったのか!」と、ある種感動さえ覚えました。みなさんも健康には気をつけましょうね。

それでは問題の解説に入りましょう!

問1 **A**地域にはベネズエラのマラカイボ湖があります。マラカイボ湖の湖底からは原油が産出するので、この原油をいかして**精油業、石油化学産業**が発達しています。原油輸出も盛んで、輸出量の43%はアメリカ向けです。ベネズエラのチャベス大統領はかつてアメリカのブッシュ政権と対決したりと、あまり仲が良くなさそうな割には、アメリカに原油を売っています。世界情勢は不思議なものです。

D地域は**ミナスジェライス州**で、**イタピラ鉄山**があり、付近のイパチングという都市にウジミナス製鉄所があります。知らない用語がこれだけ連続で出てきたらもう呪文のようにしか聞こえせんね(笑)。ここで生産された鉄鋼はヴィトリアという港からアメリカや日本へ輸出されていきます。

問2 **B**地域と**C**地域の農牧業の比較問題ですが、**B**地域の方が書きやすいと思います。**パンパ**の農牧業はどここの資料集にも載っていますからね。

まずパンパは年間降水量 550mm のラインで西側の**乾燥パンパ**、東側の**湿潤パンパ**に分けて考えましょう。アメリカの農業でも、**西経 100 度の年間降水量 500mm のライン**で西部が乾燥、東部が湿潤と分けて考えますからね。乾燥パンパのさらに西側の辺りになれば、**パタゴニア砂漠**が近づいてきて、より乾燥度合いが高まるので、乾燥に適した**羊**が飼育される地域になります。そして、乾燥パンパの中央から東部にかけては、やや乾燥した気候をいかして小麦が栽培され、バイアブランカ

強者の戦略

からヨーロッパなどに輸出されていきます。東部の湿潤パンパになると、豊富な降水量をいかして**とうもろこしやアルファルファ(牧草)**が栽培され、それを肉牛や豚に与えて肉類生産に結び付ける**混合農業**が営まれています。この混合農業が営まれている農園ですが、かなりの大規模なものとなっていて、**エスタンシア**と呼ばれています。あまりの広さで人間の足で家畜を追い回して統制することができないので、馬に乗ったカウボーイである**ガウチョ(牧夫)**も見られます。

ここまでパンパの農牧業の基本を述べてきましたが、ここで押さえておいて欲しいポイントがあります。それは、パンパ農牧業発達の要因です。パンパは南半球のアルゼンチン辺りで発達した農業地域ですが、世界の主な市場は北半球のアメリカ、アジア、ヨーロッパになります。肉類を生産したとしても、北半球まで輸送すれば必ず腐ってしまうはずですが、**冷凍船の発明以降、肉類生産が活発化した**という事実をしっかりと覚えておいて欲しいです。また、小麦はどうして栽培されたのでしょうか？北半球のアメリカやヨーロッパでも十分育てられることができます。でも、南半球で栽培させたわけですから、**北半球と南半球の季節が逆転している**ところに注目しましょう。北半球の国々の小麦の収穫時期は大体5月から11月ぐらいです。ということは、12月から4月までは小麦が食べられないことになりそうです。でも、南半球の収穫時期は季節が逆転しているので12月から2月までになっています。この関係を利用すれば、「**北半球の端境期に出荷することを目的とし、南半球の小麦生産が活発化した**」となります。

次に**C**地域を見てみましょう。**C**地域はちょっと場所がずれているように見えるかもしれませんが、**カンポ**が広がっている地域と考えればいいでしょう。カンポはブラジル国土の3分の2を占めると言われる疎林を交えた草地のことです。ここ

では**肉牛の飼育**などが行われていることを指摘します。次に、近年、**熱帯雨林が伐採されて、その跡地に大豆畑が増加している**ことも述べたいところです。

問3 ブラジルとアルゼンチンの人種民族に関わる問題です。結構簡単だと思ったんじゃないですか？でも、こういう問題は東大でも出題されていて、例えば、2003年の時には「**X群(アルゼンチンとウルグアイ)**の国々の識字率は、いずれも高い水準にある。これらの国々に共通する民族構成の特徴と言語の状況を、2行以内で述べよ」という問題も出題されています。基本的なことは覚えましょうねってことですよ。

アルゼンチンは、スペインやイタリア系の白人が入植してきたので、今でも**90%を超える白人比率の国**になっています。南米の先住民は**インディオ**と呼ばれますが、南米の南東地域までは住んでいなかったらしく、誰もいない土地に入植をして、白人比率が高い国が生まれました。

一方、**ブラジル**は、もともとインディオがいたこと、白人が入植してきたこと、さらに黒人が**さとうきび**栽培の労働者としてアフリカから連れてこさせられたこと、などが相まって、非常に複雑な人種民族構成となっています。白人とインディオの混血は**メスチソ**、白人と黒人の混血は**ムラート**と言います。

問4 **南アメリカ諸国には、メキシコやブラジル、アルゼンチンなどGNIに占める対外債務の割合が高い国が多い**です。こうした国々は、**1970年代にモノカルチャー経済からの脱却を図り、外国資本を積極的に受け入れて工業化を推進**してきました。でも、1980年代になると、対外債務の増大と過度のインフラ整備によって深刻な経済危機に陥りました。1990年代以降は、**経済の自由化政策**によって再び外国資本が流入し、工業生産力も増大しましたが、自国の通貨が暴落するという通貨危機は避けられませんでした。

強者の戦略

問5 この問題もそんなに難しくはないと思います。

東大では 2006 年に「ペルー東部のアンデス山系東斜面における土地利用の特徴について、次の語句をすべて使用して、3行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。高度／放牧／熱帯作物」という類題があります。

アンデス山脈の高度別の農業はきっちり述べられるようにしましょう。農耕限界を超えた高い山の上では、**リヤマ**や**アルパカ**の家畜が放牧されています。次に、指定用語にはなかったですが、ジャガイモを登場させましょう。アンデスと言ったら**ジャガイモ**です。保存用に乾燥させた**チューニヨ**も有名ですね。次に、トウモロコシの位置が難しいですが、2000～3000m 地帯で栽培されています。1000～2000m の高原はコーヒー豆になります。

問6 **キューバ**は**ニッケル鉱**を産出する有名な国

なので、**オ**はニッケル鉱に該当します。アルゼンチンはパンパの農牧業が発達しており、大豆の油を絞った残りの植物性油かすを輸出しているので、**エ**が植物性油かすに該当します。コロンビアは新期造山帯に属し、原油を産出するので**ウ**が原油に該当します。ブラジル・コロンビアの輸出金額上位だった**ア**が 2007 年になくなっていることを考えると、安価なものが売られなくなったと判断できるので、**ア**がコーヒー豆になり、残った**イ**が自動車となる。

ここまで読んでくださった方、お疲れ様でした。次回はどういう問題になるかわかりませんが、またお会いしましょう！